

「三菱UFJ」新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型) 第23期分配金のお知らせ

追加型投信 / 海外 / 債券

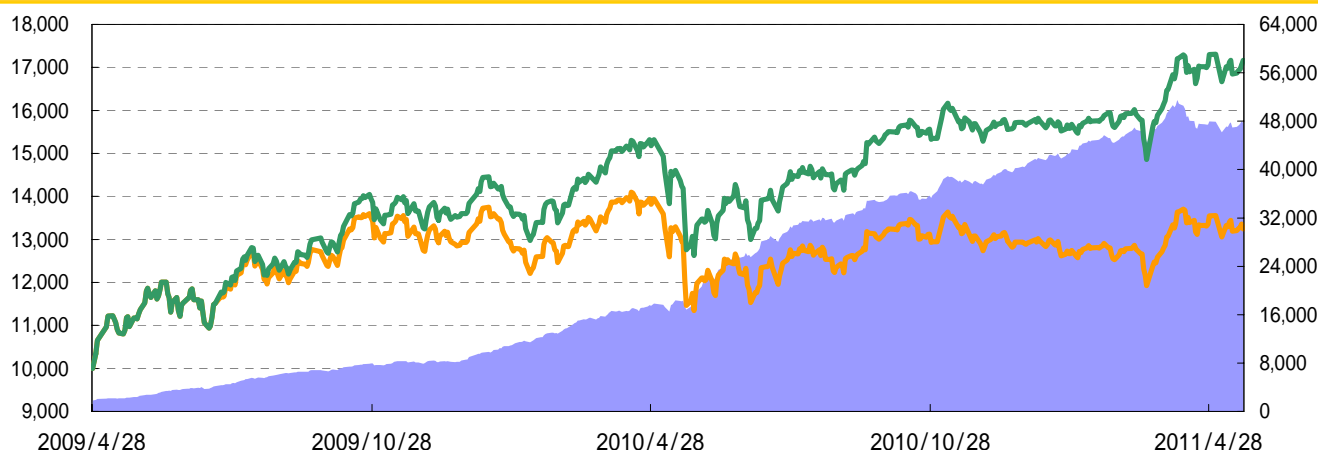
2011年5月(第23期)の分配金について

平素は弊社商品「三菱UFJ」新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。さて、当ファンドは5月20日に第23期決算を迎え、当期の分配金を200円(1万口当たり、税引前)といたしましたことをご報告申し上げます。なお、設定来の分配金累計は3,340円、決算日における分配落ち後の基準価額は13,245円です。

当ファンドでは、分配方針にしたがい、第10期(2010年4月20日決算)以降、160円(1万口当たり、税引前)の分配金をお支払いしてまいりました。主な投資対象である新興国債券の価格上昇に加え、対象通貨である豪ドルの堅調な外国為替相場に支えられ、設定来の基準価額が大幅に上昇しております。こうした状況を踏まえ、基準価額水準、市況動向、分配原資の状況等を総合的に勘案した結果、第23期(2011年5月20日決算)の分配金を200円(1万口当たり、税引前)といたしました。

今後とも引き続き「三菱UFJ」新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

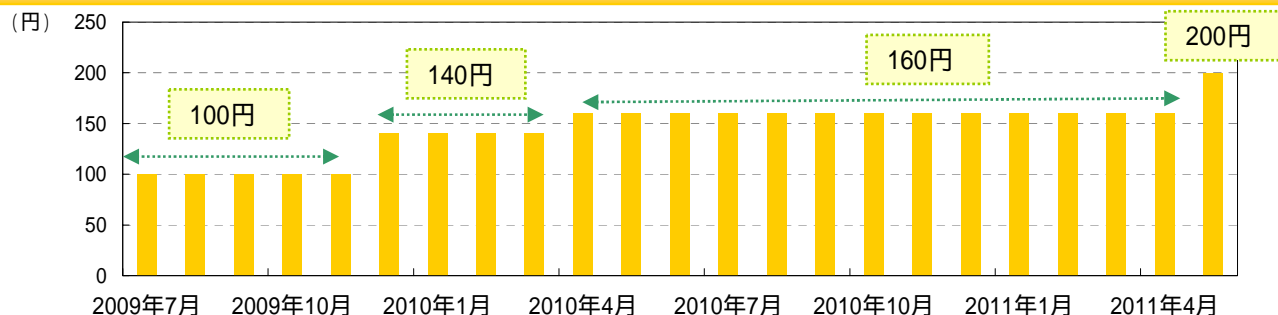
基準価額の推移 (期間:2009年4月28日(設定日)~2011年5月20日)



■ 純資産総額(百万円) [右目盛] ■ 基準価額 [左目盛] ■ 基準価額(分配金再投資) [左目盛]

- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.596%(税抜1.52%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

分配金実績(1万口当たり、税引前) (期間:2009年7月(第1期)~2011年5月(第23期))

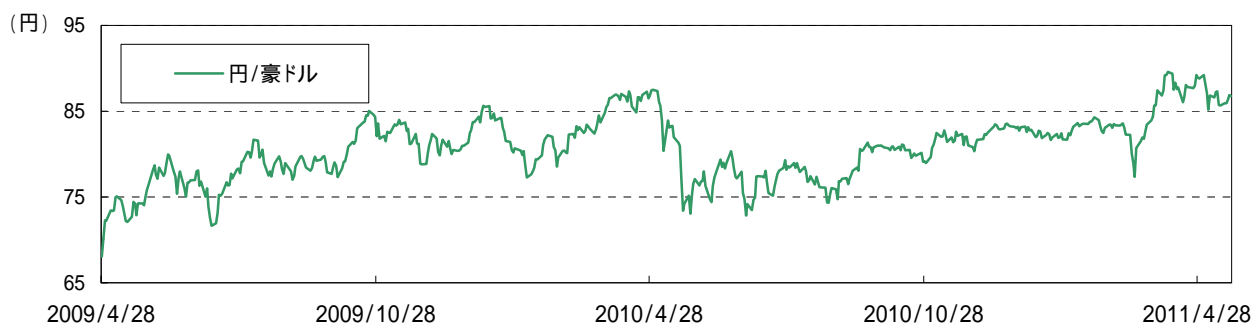


・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

(注) 当資料中のグラフ・数値は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

「三菱UFJ」新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ」<豪ドルコース>(毎月分配型)

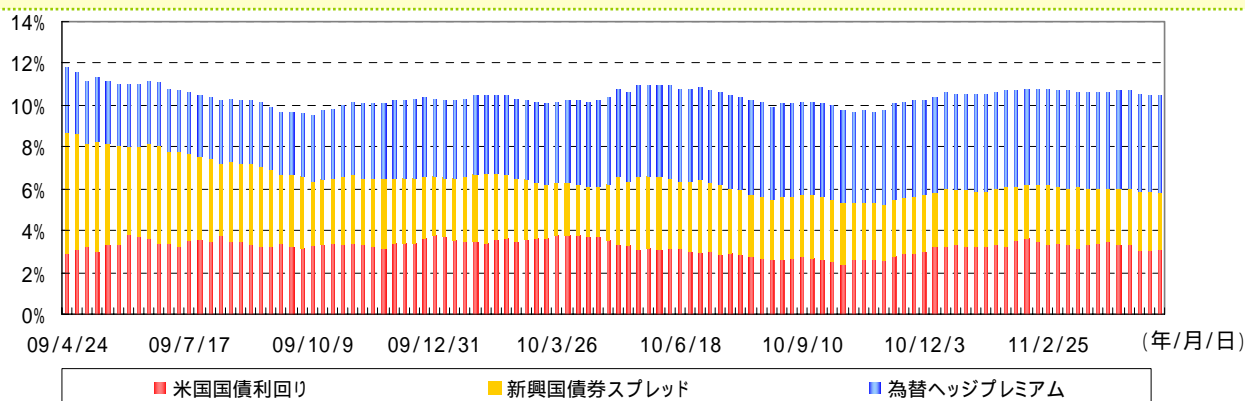
対象通貨の為替レート推移 (期間:2009年4月28日(設定日)~2011年5月20日)



・為替は、WMロイター社のデータを使用しております。

【参考】対象通貨の為替ヘッジプレミアム(シミュレーション)の推移 (期間:2009年4月24日~2011年5月20日、週次)

・グラフは、過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
 ・為替ヘッジプレミアム、為替ヘッジコストの値は、当ファンドの各コースの実際の為替ヘッジプレミアム、為替ヘッジコストとは異なります。
 ・当ファンドの各コースの実際の利回りは新興国債券の組入比率や投資銘柄、市場環境、為替ヘッジ比率等の要因により変動しますので、下記の利回りとは異なります。



・新興国債券スプレッド : JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドのスプレッド (出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成
 ・米国債利回り : 新興国債券の最終利回りからスプレッドを控除した利回り
 ・為替ヘッジプレミアムは豪ドルの短期金利(1ヵ月LIBOR) - 米ドルの短期金利(1ヵ月LIBOR)で算出しています。
 ・LIBOR: ロンドン・インターバンク・オファード・レート = 「ロンドン銀行間貸し手金利」のことで、ロンドン市場における銀行間取引の金利。
 上記のインデックス等は、当ファンドのベンチマークではなく、運用実績を示すものではありません。当資料で使用したインデックス等についてはP6をご覧ください。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。従って、上記の各利回りの合計値と合計利回りが相違する場合があります。
 ・上記の為替ヘッジプレミアムの値は、実際の為替ヘッジプレミアムとは異なります。また、米ドルと豪ドルの金利環境が逆転した場合や投資環境の変化によっては、当該為替ヘッジによるコストが発生する場合があります。
 ・上記利回りは市場および指数の利回りであり、利回り・分配金の水準を示唆・保証するものではありません。
 ・実際の利回りは新興国債券の組入比率や投資銘柄、市場環境、為替ヘッジ比率等の要因により変動しますので、上記の利回りとは異なります。
 ・対米ドルで為替ヘッジを行うことにより、豪ドルの為替変動リスク(対米ドル)をヘッジしますが、完全にヘッジを行うことができないとは限りません。よって為替ヘッジプレミアムを十分に得ることができなったり、米ドルに対する為替変動の影響を受ける可能性があります。

上記における為替ヘッジプレミアムは、米ドルと豪ドル間の短期金利差により算出されていますが、為替予約市場の需給の影響等を受け、市場で公表されている金利と大きく乖離する場合があります。

・上記各グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

「三菱UFJ」新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ」 <豪ドルコース> (毎月分配型)**Q1:なぜ分配金が引き上げられたのですか？**

分配金は基準価額の水準、市況動向、過去の利益も含めた分配原資の状況等を総合的に勘案して運用会社が決定します。

豪ドルコースでは過去13期にわたり毎月160円(1万口当たり、税引前)の分配を続けてまいりました。その間、堅調な新興国債券市場ならびに対象通貨である豪ドルの堅調な相場に支えられ、決算日(5月20日)現在の基準価額(分配金再投資)は、17,170円と堅調に推移しております。
当ファンドにおきましては、新興国債券の利息収入に加え豪ドルを選好したことによる為替ヘッジプレミアムにより高水準の利息収入等を安定的に分配してまいりました。
今回の決算では、これに過去から累積した値上がり益(分配原資)の一部を加えて200円(1万口当たり、税引前)の分配金のお支払いを決定いたしました。

Q2:今後、分配金額が変わることはありますか？

安定的な分配の支払いをめざしておりますが、分配金はファンドの収益力に応じて変動します。したがって将来変更されることがあります。

将来の分配金については、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。また、今後の市況動向や運用状況によっては分配金額が変更される、あるいは分配金が支払われない場合があります。

Q3:今後の為替(豪ドル)の見通しを教えてください。

円 / 豪ドル予想中心レンジ(3ヵ月)
87.0 ~ 93.0 円

豪ドルは、対円で堅調に推移するとみています。原油など国際商品市況の上昇は、豪州国内の資源開発投資を後押しすると考えられ、中長期的な豪州経済の押し上げ要因になると思われます。一方、RBA(豪州連邦準備銀行)は、国内の大洪水からの復興状況や主要貿易相手国である日本の大震災が豪州経済や物価にどのような影響を及ぼすのか、慎重に見極めようとすると思われます。このため政策金利は当面据え置きが続くと思われそうですが、2011年後半にかけて洪水からの復興に向けた投資の明確化が見込まれることから、利上げ観測は高まっていくとみています。震災による景気の悪化と低金利政策の長期化が見込まれる日本との景況感格差や金利格差の明確化を背景に、豪ドルは対円で強含みで推移すると考えています。
(弊社マーケットマンスリー2011年5月より)

・本見通しないし分析は作成日基準のものであり、将来変動する可能性があります。また、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。

「三菱UFJ」新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ」<豪ドルコース>(毎月分配型)

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

各ファンド(マネーボールファンドを除く)は、米ドル建ての新興国債券を実質的な主要投資対象とし、高い利子収入の獲得と中長期的な信託財産の成長をめざします。

マネーボールファンドは、わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保をめざします。

ファンドの特色

三菱UFJ」新興国債券ファンド 通貨選択シリーズは、以下の11本のファンドで構成される投資信託です。

- <円コース>(毎月分配型)
- <米ドルコース>(毎月分配型)
- <ユーロコース>(毎月分配型)
- <豪ドルコース>(毎月分配型)
- <ブラジルリアルコース>(毎月分配型)
- <南アフリカランドコース>(毎月分配型)
- <トルコリラコース>(毎月分配型)
- <中国元コース>(毎月分配型)
- <インドネシアルピアコース>(毎月分配型)
- <資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)
- <マネーボールファンド>

・各ファンド(マネーボールファンドを除く)は、主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての新興経済国の国債や政府機関債等を実質的な投資を行い、高い利子収入の獲得と中長期的な信託財産の成長をめざします。また、円建国内証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。(ファンド・オブ・ファンズ形式)

・マネーボールファンドは、マネー・マーケット・マザーファンドを通じて、わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保をめざします。

・各ファンド(マネーボールファンドを除く)が投資を行う外国投資信託においては、主に米ドル建ての新興国債券に投資を行う一方で、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替ヘッジを行います。これにより、「為替ヘッジプレミアム/コスト」、「為替差益/差損」が生じます。

・各ファンド(マネーボールファンドを除く)の対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より高い場合、当該ファンドでは「為替ヘッジプレミアム」の獲得が期待でき、米ドルの短期金利より低い場合、当該ファンドでは「為替ヘッジコスト」が生じます。

・各ファンド(円コース(毎月分配型)、マネーボールファンドを除く)の基準価額は、為替相場が各ファンドの対象通貨に対して、円高方向に進んだ場合には、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。なお、円コース(毎月分配型)では、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

*資源国バスケット通貨コース(毎月分配型)においては、3通貨(豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランド)を対象通貨とし、実質的な配分は3分の1程度ずつになることを基本とします。

・各ファンド(マネーボールファンドを除く)は、原則として毎月20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。

・マネーボールファンドは原則として、毎年4月・10月の20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。

*資源国バスケット通貨コース(毎月分配型)の初回決算日は2011年4月20日です。

・各ファンド(マネーボールファンドを除く)において、投資信託証券への運用の指図に関する権限をピムコジャパンリミテッドに委託します。

・各ファンド間でスイッチングが可能です。(販売会社によっては、取り扱わないファンドがある場合があります。)

・マネーボールファンドの購入は、マネーボールファンド以外の各ファンドからのスイッチングの場合に限定します。

<主な投資制限>

各ファンド(マネーボールファンドを除く)

- ・投資信託証券への投資割合に制限を設けません。
- ・外貨建資産への直接投資は行いません。

マネーボールファンド

- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

「三菱UFJ」新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ」<豪ドルコース>(毎月分配型)
投資リスク
基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

各ファンド(マネープールファンドを除く)

市場リスク

(価格変動リスク)

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、各ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

(為替変動リスク)

「円コース(毎月分配型)」

組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行う場合で円金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。

「米ドルコース(毎月分配型)」

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

「ユーロコース(毎月分配型) / 豪ドルコース(毎月分配型) / ブラジルリアルコース(毎月分配型) / 南アフリカランドコース(毎月分配型) / トルコリラコース(毎月分配型) / 中国元コース(毎月分配型) / インドネシアルピアコース(毎月分配型)」

各ファンドの組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替ヘッジを行うため、各ファンドの対象通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替ヘッジを行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。

為替取引に関する規制がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、ヘッジコストが生じる場合があります。

「資源国バスケット通貨コース(毎月分配型)」

組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、資源国バスケット通貨(豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランドを各々3分の1程度ずつ)買いの為替ヘッジを行うため、当該バスケット通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替ヘッジを行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。

為替取引に関する規制がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、ヘッジコストが生じる場合があります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

カントリーリスク

新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

「三菱UFJ」新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ」<豪ドルコース>(毎月分配型)

投資リスク

基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

マネープールファンド

市場リスク

(価格変動リスク)

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

当資料で使用したインデックスについて

JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.Morgan Securities Inc.が算出し公表している米ドル建ての新興国債および国債に準じる債券のパフォーマンスを表す指数で、指数構成国の組入比率に調整を加えた指数です。組入比率の調整を行わない指数としてJPモルガンEMBIグローバルがあります。

その他の留意点

各ファンド(マネープールファンドを除く)

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

マネープールファンド

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

「三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ」 <豪ドルコース> (毎月分配型)
手続・手数料等
お申込みメモ

| | |
|--------------------|--|
| 購入単位 | 販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。 |
| 購入価額 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 マネーボールファンドの購入は、マネーボールファンド以外の各ファンドからのスイッチングによる場合に限り、 ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。 |
| 購入代金 | 販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。 |
| 換金単位 | 販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。 |
| 換金価額 | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額 |
| 換金代金 | 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。 |
| 申込締切時間 | 原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。 |
| 申込不可日 | 各ファンド(マネーボールファンドを除く) ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日は、購入・換金のお申込みができません。2011年の該当日は1月17日、2月21日、4月22日、5月30日、7月4日、9月5日、11月11日、11月24日、12月26日です。なお、休業日は変更される場合があります。 |
| 換金制限 | ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。 |
| 購入・換金申込受付の中止および取消し | 各ファンド(マネーボールファンドを除く) 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。 マネーボールファンド 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。 |
| 信託期間 | 円コース(毎月分配型) / 米ドルコース(毎月分配型) / ユーロコース(毎月分配型) / 豪ドルコース(毎月分配型) / ブラジルレアルコース(毎月分配型) / 南アフリカランドコース(毎月分配型) / トルコリラコース(毎月分配型) / マネーボールファンド 2014年4月21日まで(2009年4月28日設定) 中国元コース(毎月分配型) / インドネシアルピアコース(毎月分配型) 2014年4月21日まで(2010年5月6日設定) 資源国バスケット通貨コース(毎月分配型) 2014年4月21日まで(2011年1月20日設定) |
| 繰上償還 | 各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合および各ファンドの受益権の口数を合計した口数が50億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。 |
| 決算日 | 各ファンド(マネーボールファンドを除く) 毎月20日(休業日の場合は翌営業日) 資源国バスケット通貨コース(毎月分配型)の第1回目の決算日は2011年4月20日 マネーボールファンド 毎年4・10月の各20日(休業日の場合は翌営業日) |
| 収益分配 | 各ファンド(マネーボールファンドを除く) 毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。 マネーボールファンド 年2回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。 |
| 課税関係 | 課税上、株式投資信託として取り扱われます。 |

(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

委託会社(ファンドの運用の指図等) 三菱UFJ投信株式会社
受託会社(ファンドの財産の保管・管理等) 三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社(購入・換金の取扱い等) 後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 ...三菱UFJ投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会 (社)投資信託協会
(社)日本証券投資顧問業協会

「三菱UFJ」新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ」<豪ドルコース>(毎月分配型)
手続・手数料等

ファンドの費用・税金

・ファンドの費用
【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】
各ファンド(マネーボールファンドを除く)
お客さまが直接的に負担する費用
購入時

| | |
|--------|---|
| 購入時手数料 | 購入価額 × 3.15% (税抜 3%) (上限) / 販売会社にご確認ください。 |
|--------|---|

換金時

| | |
|---------|--------|
| 信託財産留保額 | ありません。 |
|---------|--------|

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用
保有期間中

| | |
|------------------|---|
| 運用管理費用 (信託報酬) | 純資産総額 × 年1.596% (税抜 年1.52%) ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用(信託報酬)はかかりませんので、お客さまが負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は上記と同じです。 |
| その他の費用・ 手数料 | 売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。 |

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限ります。)には消費税等相当額が含まれます。

お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

マネーボールファンド
お客さまが直接的に負担する費用
購入時

| | |
|--------|--------|
| 購入時手数料 | ありません。 |
|--------|--------|

換金時

| | |
|---------|--------|
| 信託財産留保額 | ありません。 |
|---------|--------|

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用
保有期間中

| | |
|------------------|--|
| 運用管理費用 (信託報酬) | 純資産総額 × 年0.0105% ~ 0.5775% (税抜 年0.01% ~ 0.55%) 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。 |
| その他の費用・ 手数料 | 売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。 |

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限ります。)には消費税等相当額が含まれます。お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。

なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。/販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。/投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。/投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。/当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。/当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。/当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**
受付時間 / 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・12月31日 ~ 1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.mufj.jp/>
<モバイルサイト> <http://k.m-muam.jp/a/1/3>
基準価額・分配金をメール配信(*メール配信対象外ファンドもあります。)



販売会社情報一覧表

ファンド名称:三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

| 商号 | 登録番号等 | 加入協会 |
|--|------------------------------|---|
| 株式会社 阿波銀行 (一部コースのみ取扱、インターネット専用) | 登録金融機関 四国財務局長(登金)第1号 | 日本証券業協会 |
| 株式会社 伊予銀行 (一部コースのみ取扱) | 登録金融機関 四国財務局長(登金)第2号 | 日本証券業協会 / (社)金融先物取引業協会 |
| 静銀ティーエム証券株式会社 | 金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第10号 | 日本証券業協会 |
| 株式会社 十六銀行 (一部コースのみ取扱) | 登録金融機関 東海財務局長(登金)第7号 | 日本証券業協会 / (社)金融先物取引業協会 |
| 中銀証券株式会社 | 金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第6号 | 日本証券業協会 |
| 八十二証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第21号 | 日本証券業協会 / (社)日本証券投資顧問業協会 |
| 株式会社 三菱東京UFJ銀行(三菱UFJモルガン・スタンレー証券の証券取引口座でも取扱っております) | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号 | 日本証券業協会 / (社)金融先物取引業協会 |
| 三菱UFJ信託銀行株式会社 | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号 | 日本証券業協会 / (社)金融先物取引業協会 |
| 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号 | 日本証券業協会 / (社)日本証券投資顧問業協会 / (社)金融先物取引業協会 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |